

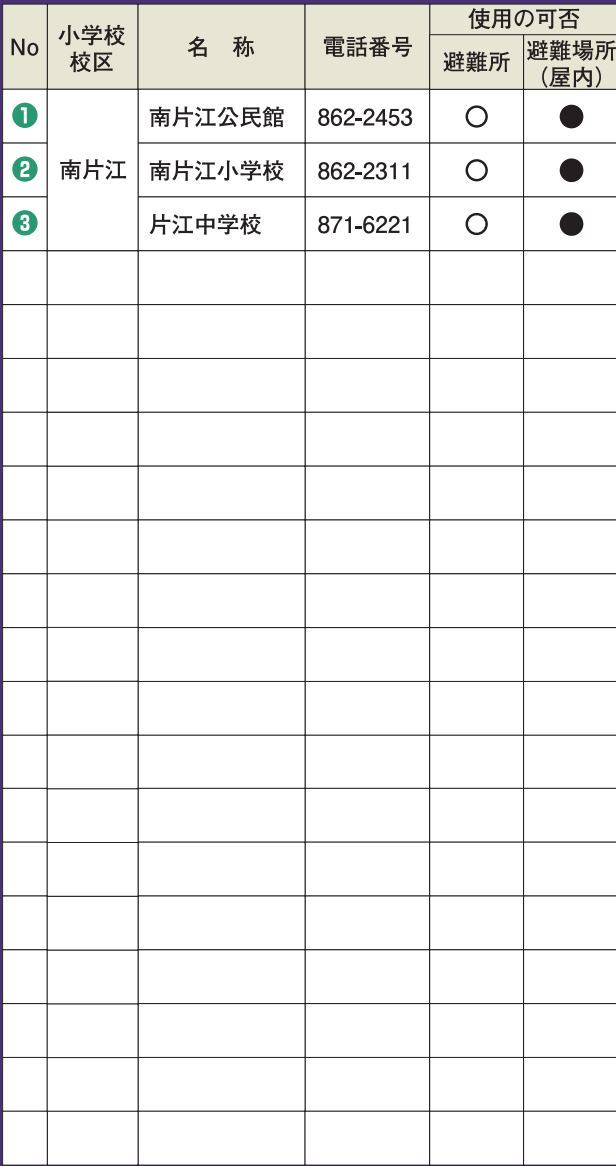


ため池ハザードマップ



被災者が一定の期間、避難生活を送るための施設

○：使用可（○内に数字がある場合、数字以上の階が使用可）
×：使用不可 ●：避難場所（屋内）を兼ねる施設



※市が指定する避難所への避難をお考えの場合には、事前に開設状況について、市ホームページ又はお住いの区役所総務課で、ご確認ください。

※浸水想定区域図が掛かる小学校校区の避難場所等を記載しています。詳細な場所や記載されていない避難所等の確認は「福岡市Webまっぷ」をご利用ください。

<https://webmap.city.fukuoka.lg.jp/fukuoka/Portal>



災害の危険から命を守るため緊急避難する施設・場所

○：使用可 ×：使用不可

ため池浸水想定区域 (対象ため池)	浸水深の目安	凡 例
深さ3.0m以上 深さ1.0m～3.0m未満 深さ0.5m～1.0m未満 深さ0.5m未満		➡ 避難方向(目安) おおよその避難方向を示しています。表示以外の箇所でも災害等が発生する可能性がありますので十分注意してください。 × 堤防が壊れる位置(想定) — 小学校校区境 ——— 市境
洪水到達時間(目安) 1分後 3分後 5分後 10分後	避難時危険箇所 特別警戒区域 (土石流) 警戒区域 (土石流) 特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊) 警戒区域 (急傾斜地の崩壊)	家族の防災メモ 家族の避難先 家族の集合場所 避難所の電話番号

※この地図は、満水状態のため池が地震等で決壊し、貯留水の全量が流出したケースを想定しているため、降雨状況等により浸水の深さが変わることや、表示されていない範囲に浸水が及ぶ場合があります。また、ため池の直下等では、堤防の土砂が下流へ流出する可能性もありますので注意してください。



福岡市ため池ハザードマップ

「ため池ハザードマップ」は地震などでため池が決壊した場合に想定される浸水の範囲や深さ、避難場所などの情報をまとめた地図です。いざという時に適切な避難行動がとれるように、地図の内容を確認して、災害への備えにお役立てください。

□ ため池とは？

農業用水を貯え、必要な時に水田に水を送れるよう人工的に造られた池のことです。また、農業用水を確保するだけでなく、右に示すような機能もあります。



洪水防止

土砂流出防止



防火対策

生態系の保全

□ ため池の決壊の主な原因



大雨によりため池の水位が上昇すると堤防に水が浸透して漏水が発生したり、あふれ出た水の勢いで堤防が浸食され決壊に至るおそれがあります。



地震の揺れにより堤防が異常な力を受け、亀裂や漏水が発生したり、地盤の液状化により堤防が変形することで決壊に至るおそれがあります。

□ 避難情報の発令

ため池に異常等が見つかり、災害が発生、または発生するおそれがあると市が判断した場合、避難情報を発令することがあります。



発令される情報	取るべき行動
緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保!
避難指示	危険な場所から全員避難

ため池の異常等を発見した場合は、右下の「緊急時の連絡先」までご連絡をお願いします。

□ 防災情報の入手

福岡市では防災情報を防災メール等で発信しています。災害が起こる前に登録しましょう。
※防災情報は無料で入手できますが、メール受信等の通信費用は利用者の負担となります。

テレビのデータ放送

災害時、テレビのリモコンのdボタンを押して、気象情報や避難情報を入手できます。

福岡市防災メール

最新の気象情報や地震・津波情報、雨量・河川水位情報、土砂災害警戒情報、避難指示などの緊急情報を携帯電話やパソコンにメールで提供します。

福岡市LINE公式アカウント

避難情報や大雨等の気象情報や地震情報などをLINEでタイムリーに受け取ることができます。

福岡市防災気象情報

台風や集中豪雨から身を守るために、インターネットを通じて河川水位や降雨量など防災情報を提供するサイトです。雨量などのリアルタイムな情報を確認し、避難行動を開始する目安としましょう。

防災アプリ ツナガル+

災害時に市と直接つながることのできるアプリです。避難所内での情報共有や市からの支援物資情報などを知ることができます。避難場所を発信し市に支援を求めることもできます。

総合ハザードマップ

各種災害リスクをインターネット上で一元的に確認できます。地域や家庭における防災・減災のため、身の回りの災害リスクや避難経路等の確認にご活用ください。

住民のみなさま

□ ため池ハザードマップの使い方

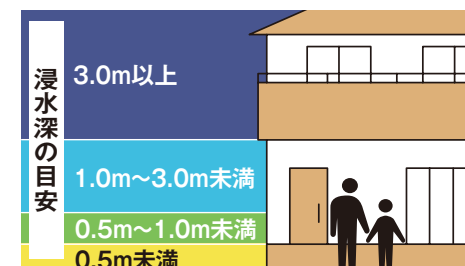
① 自宅を見つけましょう

ため池ハザードマップで自宅を見つけ、災害リスクを確認しましょう。



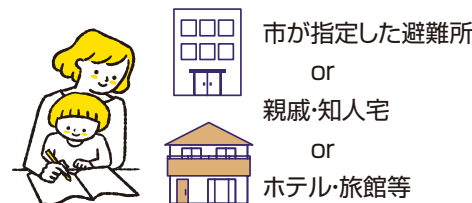
② 適切な避難行動を理解しましょう

浸水の深さに応じた避難方法を確認し、あなたに必要な避難行動を理解しましょう。



③ 避難先を決めましょう

立ち退き避難が必要な場合は、避難先を決めましょう。公民館など市施設だけでなく、親戚や知人宅など、ご自身に合った避難先を決めておきましょう。



④ 避難ルートを決めて歩いてみましょう

避難ルートを複数決めましょう。また、決めたルートを実際に歩いて、安全に避難できるかを確かめましょう。



⑤ 家族で災害の対応を話し合いましょう

災害時の行動を家族で話し合い、もしもの時の集合場所や、約束事を決めておきましょう。



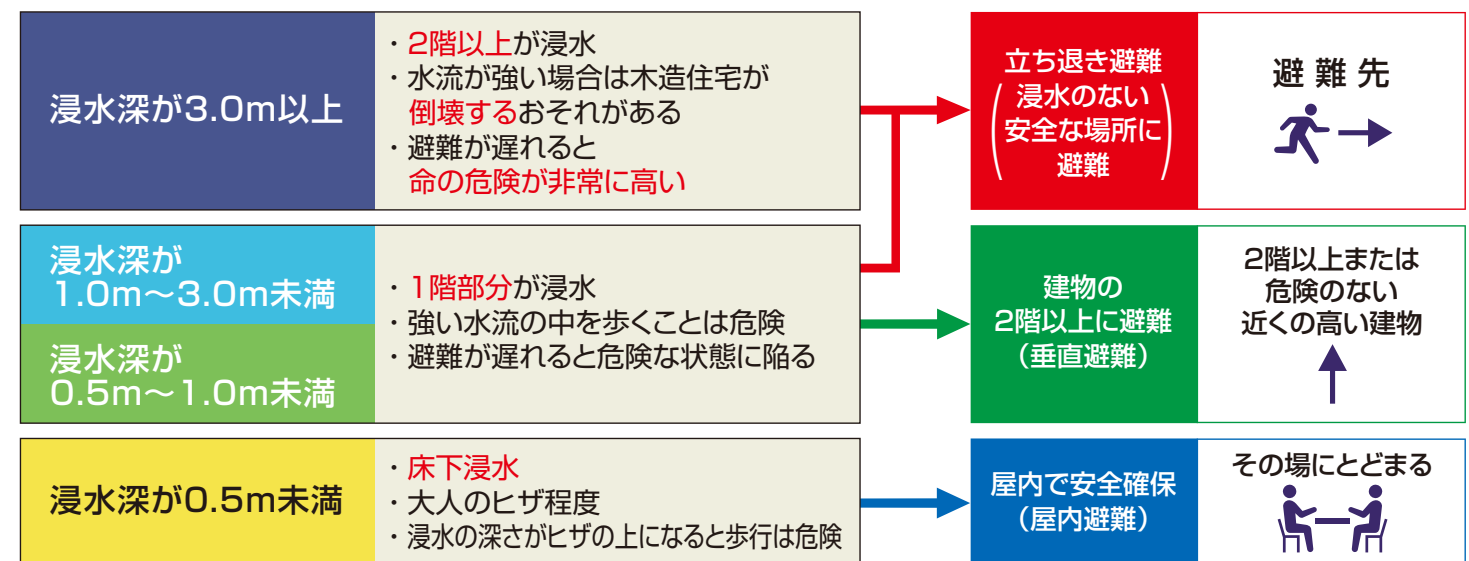
⑥ 学校や近所で話し合いましょう

学校やご近所で話し合い、災害時にみなさんで協力して避難できるようにしておきましょう。



□ 避難方法

マップで自宅周辺の浸水の深さを確認し、基本的な避難の仕方を考えましょう。



□ 緊急時の連絡先

お問い合わせ内容	ため池の異常等	避難情報の確認	避難所の開設状況	人命に係わる災害	災害時の安否確認
関係機関	農林水産局農業施設課 733-5541	市民局防災・危機管理部 711-4056	城南区役所総務課 833-4055	警察 110 消防・救急 119	災害用伝言ダイヤル 171